

1. 背景と課題

- 人口減少や高齢化、価値観の多様化、急速な技術革新等、行政を取り巻く環境は大きく変化。
 - 限られた人材・財源の中で、住民サービスの質の維持・向上が必要。
 - 単独自治体での取組による取組の限界（業務やシステムの個別最適化・デジタル人材不足等）
- 令和5年度から3年間をかけて、**県と市町村が協働・共創し、BPR（業務プロセスの再構築）やデジタル技術の活用等により行政の課題解決に取り組める基盤**を形成。
- 基盤の上に**県・市町村が行政DXをともに進めるための「共通の羅針盤」**が必要。

2. 策定に向けたプロセス

県と市町村の担当者が、合同研修会やテーマ別のよろず相談等の機会を通じて対話と検討を重ね、めざすべき姿や、その実現に向けて協働して取り組むべき方向性を検討してきました。



3. わかやまDX-GOALS を踏まえた今後の取組

和歌山県の支援事業のなかで、GOALSの実現に向けた取組を推進するとともに、市町村の主体的な協働・共創の取組創出を支援していきます。



私たちの「わかやまDX-GOALS」

業務・システムの全体最適化、DX人材確保などの課題解決に向け、私たちは2023年から3年間にわたり対話と連携を重ねてきました。その中で、私たちが共に目指し、取り組むべき姿を『Goals』として形にしました。

Goal 01 DX人材を共に確保し、育てます。



- 行政DX推進に必要な人材やスキルを見える化し、共に確保し育てる仕組みを作ります。
- 県・市町村の枠を超えた交流や外部人材の活用を通じて、ノウハウや人材を分かち合います。

Goal 02 業務やシステムを共に最適化し、高度化します。



- システムの共同調達・共同利用を進め、コスト削減と効率化を図ります。
- 業務の見直しと標準化、先進的な取組の共有を通じて、業務の高度化と職員の働き方改革を推進します。

これらのGoalsをもとに、県と市町村が力を合わせ、BPRやデジタル技術の活用等に取り組むことで、

- **住民にとって、より便利で質の高いサービスが受けられる社会**
- **職員にとって、やりがいと働きやすさが両立する職場**

を実現します。

